

## 大分県医療計画（第7次：平成30～35年度）－素案－

## 1 計画策定の骨子

## (1) 計画の骨子

5 疾病 5 事業及び在宅医療の目標、医療従事者の確保、医療の安全確保、二次医療圏の設定、基準病床数の算定、地域医療構想の推進 等

## 2 5 疾病 5 事業及び在宅医療の素案における主要な取組

- 5 疾病**
- (1) **がん医療：予防と早期発見、誰もが適切ながん医療が選択できる体制作り**  
 ・がん予防やがん教育の推進、がん検診受診率の向上、緩和ケアや就労支援の充実
- (2) **脳卒中医療：急性期から回復期、維持期の切れ目のない医療提供体制の整備**  
 ・生活習慣改善による発症予防の取組、適切なリハビリの実施や、かかりつけ医との連携による一貫した医療提供体制の構築
- (3) **心筋梗塞等の心血管疾患医療：急性期から回復期、維持期の切れ目のない医療提供体制の整備**  
 ・生活習慣改善による発症予防の取組やAEDの啓発、在宅医療も含めた切れ目のない医療提供体制の構築
- (4) **糖尿病医療：予防と早期治療、日常生活管理及び治療体制の整備**  
 ・生活習慣改善に関する普及啓発など発症予防の取組を推進  
 ・専門医とかかりつけ医など、医療機関相互の連携の促進
- (5) **精神疾患医療（認知症施策含む）：多様な精神疾患に対応し、地域で安心して暮らせる体制の整備**  
 ・多様な精神疾患へ対応するため医療機関の連携体制構築や普及啓発の推進、県立精神医療センターの開設による精神科救急体制の充実  
 ・早期診断や介護との連携による対応、若年層認知症施策の強化や認知症患者家族への支援の推進

- 5 事業及び在宅医療**
- (1) **小児医療：家族への支援体制や地域小児医療の確保**  
 ・小児慢性疾患特定患者への支援の充実や、かかりつけ医や診療時間内受診の啓発、災害時小児周産期リエゾンの検討
- (2) **周産期医療：妊娠、出産から新生児に至る周産期医療の安全性の確保**  
 ・周産期医療ネットワークの強化、周産期メンタルヘルスケア体制の充実、災害時小児周産期リエゾンの検討
- (3) **救急医療：迅速な救命処置を行う体制の整備**  
 ・病院前救護体制の整備、初期・二次・三次体制の充実、他県ドクターヘリとの広域連携体制の検討
- (4) **災害医療：災害時に必要な医療救護体制の整備**  
 ・災害医療コーディネート体制の強化、様々な関係団体との連携による災害医療体制の充実  
 ・保健所機能を活用した地域災害への対応
- (5) **へき地医療：どこに住んでいても医療サービスを受けることができる体制の整備**  
 ・へき地診療所及びへき地医療拠点病院に対する支援、医師の確保・養成によるへき地医療体制の確保
- (6) **在宅医療：自宅等住み慣れた環境で療養が可能となるよう適切な医療提供体制の整備**  
 ・医療と介護の連携促進のための人材育成、訪問看護ステーション整備促進など提供体制の基盤充実、在宅医療の普及啓発

## 3 スケジュール

- 12月 大分県医療計画策定協議会による素案作成  
 1月 パブリックコメントの実施、関係団体への意見照会  
 3月 第1回定例会への報告、大分県医療審議会諮問・答申